

日本天文学会昭和49年度春季年会記事

昭和49年度春季年会は、5月14日(火)~17日(金)の4日間、東大理学2部号館講堂(本郷)で開催された。講演数160、出席者約360名、座長にはつぎの方々をお願いした。

- | | |
|--------|----------------------|
| 14日 午前 | 安田 春雄, 弓 滋 (講演数 16) |
| 午後 | 清水 彊, 上野 季夫 (" 26) |
| 15日 午前 | 川口市 郎, 末元善三郎 (" 19) |
| 午後 | 田中 春夫, 大沢 清輝 (" 27) |
| 16日 午前 | 青木 信仰, 大野 陽朗 (" 21) |
| 午後 | 会 津 晃 (" 11) |
| 17日 午前 | 海野和三郎, 赤羽 賢司 (" 19) |
| 午後 | 高窪 啓弥, 小尾 信弥 (" 21) |

なお会期中、総会、評議員会、理事会及び懇親会、その他多くのサブ・グループの会合がもたれた。

総会議事録

(5月16日午後3時15分~5時25分、講演会場で開催、出席者約120名)

議長: 齊藤国治理事長

- 次第: 1. 昭和48年度会務報告
2. 昭和48年度会計報告
3. 昭和49年度予算案
4. 次期評議員(A組)の選出
5. 定款一部改訂の件

◇ 昭和48年度会務報告が庶務理事より行われ、承認された。昭和48年度会計報告及び監査報告が会計理事及び会計監査より行われ、承認された。昭和49年度予算案が会計理事から提案され、原案通り承認された。なお、会計理事より昭和50年度より会費値上げが必要である旨報告があった。(以上付録参照)

◇ 評議員会からの推薦に基づき、総会はずぎの15名を新評議員に選出した。(A組 任期昭和49~52年度 *印は重任)

青木 信仰*, 飯島 重孝, 奥田 豊三*, 北村 正利, 小暮 智一*, 齊藤 国治, 末元善三郎*, 高窪 啓弥*, 竹内 端夫, 田中 春夫*, 長谷川 一郎, 服部 昭, 三沢 邦彦, 宮本 正太郎*, 弓 滋

◇ 定款一部改訂の件

飯島副理事長より、昨年春の評議員会に前期理事会から提出され、再検討のため差戻され今期理事会にその継続審議が委ねられた前期理事会作成の運営改革のための理事会案(中間案)に関して今期理事会の検討経過、及びその結果今期理事会として意見の一致をみ

たこの問題に関する方針についての説明があり、評議員会の承認を得た総会提出議案として次の提案がなされた。

提案(1): 今期理事会で濃密な討議の後意見の一致をみた方針は次のものである。“中間案”の三つの柱のうち、差戻し後の審議に於ていまだ理事会内で合意に達していない特B会員の問題及び担当評議員制度の問題については、特別会員以外の人の意向も出来るだけ反映しつつ、他の学会運営上の諸問題と矛盾を生じないような解決を探るため今後の検討に委ねることとし、今期理事会で意見の一致をみた評議員選挙の問題を先に進めるものとする。選挙施行方法等についてははまだ十分な論議が行われていないため、大を改めて小に至る行き方で、先ず今春の総会に於て次の(2)で述べる定款の一部改訂を行い、引続いて選挙実施時迄に間に合うように早急に選挙施行細則をつめることとしたい。これは従来の総会申し合せ等の線を多少修正した行き方であるので、総会尊重の立場からこの可否を総会に問うのが筋であると考え、これをはかりたい。

これに対して活発な質疑応答及び討論の後、挙手による採決が行われ、賛成多数で可決した。これに基づいて次の具体的実行案が提案された。

提案(2): 実行案としての定款一部改訂案

現行第19条: 理事長、副理事長及び評議員は通常総会で評議員会の推薦に基づいて特別会員中からこれを選ぶ。

改訂案第19条: 理事長及び副理事長は通常総会で評議員会の推薦に基づいて特別会員中からこれを選ぶ。

評議員は別に定める選挙施行細則に基づいて、特別会員相互間でこれを選出し、通常総会の承認を得るものとする。

この改訂に伴って、現行第34条の“評議員”の文字を削る。

又、移行措置として次の付則を入れる。

付則: 第19条に基づく評議員の選挙は旧定款による評議員の任期満了に伴い順次施行する。

提案(2)について質疑応答及び討論の後、投票により

採決した結果、賛成 95, 反対 9, 白票 4 で、定款改訂に関する規定（総会に於る有効投票の三分の二以上の賛成が必要）に従ってこの定款一部改訂が可決成立した。

〔付録 1〕 昭和48年度（1973～1974）会務報告

昭和48年度は、本会創立66年度、社団法人設立後40年にあたる。

本年度に行った事業

(イ) 出版

- 1) 欧文研究報告 (Publications of the Astronomical Society of Japan)
第25巻第2号 138頁 (昭和48年5月25日発行)
第25巻第3号 116頁 (昭和48年8月25日発行)
第25巻第4号 200頁 (昭和48年12月25日発行)
第26巻第1号 166頁 (昭和49年3月25日発行)

2) 天文月報

第66巻第4号から第67巻第3号まで毎月発行

(ロ) 年会

1) 春季年会

昭和48年5月15日～18日 東京大学理学部2号館講堂で開催
講演数 125 出席者約 270名

2) 秋季年会

昭和48年10月11日～13日 香川大学教育学部で開催
講演数 109 出席者約 210名

総会及び評議員会

(イ) 通常総会

昭和48年5月17日午後3時50分～5時10分東京大学理学部2号館講堂で開催

議長: 奥田豊三

- 議題: 1. 天体発見賞贈呈の件
2. 昭和47年度会務報告
3. 昭和47年度会計報告
4. 昭和48年度予算案
5. 次期理事長・副理事長の選出
6. 次期理事指名
7. 欧文研究報告編集委員委嘱
8. 大塚奨学金選考委員委嘱
9. 会計監査委嘱
10. 新理事長挨拶
11. 定款理事会案について
12. 光害防止運動について

(ロ) 評議員会

- 1) 昭和48年4月9日午後2時～6時 東京大学理学

部天文学教室会議室で開催

議長: 奥田豊三

- 議題: 1. 昭和47年度会務報告, 会計報告
2. 昭和48年度予算案
3. 天体発見賞贈呈
4. 次期理事の推薦
欧文報告編集委員の委嘱
大塚奨学金選考委員の改選
会計監査の選任
5. 学会定款理事会案について

- 2) 昭和48年5月16日午後0時30分～1時20分 東京都文京区学士会館本郷分室3号室で開催

議長: 藤田良雄

- 議題: 1. 総会提出議案の確認
2. その他

その他のおもな会務

(イ) 天体発見賞贈呈 (5月)

小島信久氏 (Kojima 彗星 1972j, 1972年10月31日発見) に天体発見賞を贈呈した。

(ロ) 昭和48年度本会奨励研究生として麻生 正, 井上一, 露木 薫, 大石正幸の4氏を決定した。(7月)

(ハ) 東京天文台の一般公開を後援した。(10月)

(ニ) 昭和48年度大塚奨学金を黒田武彦, 杉本 智の2氏に支給した。

(ホ) 東レ科学技術研究助成候補を1件推薦申請した。(11月)

(ヘ) 学術会議あて、昭和49年度の科学研究費補助金の配分審査委員候補者として

第1段: 高瀬文志郎, 田中春夫, 堀源一郎

第2段: 大沢清輝, 末元善三郎

の各氏を推薦した。(12月)

(ト) 学術会議中央選挙管理委員会より昭和49年11月に行われる会員選挙に関して臨時委員の推薦を依頼してきたので、上条文夫氏を推薦した。(12月)

(チ) 文部省より昭和48年度研究成果刊行補助金として欧文研究報告に対し、560,000円が交付された。(12月)

(リ) 学術交流関係事務として、年会発表者に対する旅費の補助を行った。

会 員 数 (昭和49年3月31日現在)

	本年度	昨年度
名誉会員	5	5
特別会員	424	403
通常会員	1,348	1,399
賛助会員	36	35

〔付録 2〕 昭和 48 年度収支決算書

(自昭和48年4月1日 至昭和49年3月31日)

社団法人 日本天文学会

経常部

(単位 円)

収 入		支 出	
前期繰越金	3,799,162	欧文報告調製費	3,805,476
会 費	3,507,360	欧文報告複製費	0
欧文報告販売	1,959,308	天文月報調製費	3,546,739
天文月報販売	607,694	諸印刷物調製費	1,238,370
諸印刷物販売	1,249,159	送料通信費	857,651
印 税	726,956	交 通 費	195,300
利 息	78,720	定 会 費	30,000
雑 収 入	2,497,567	謝 金	488,750
欧文報告 委託出版費	280,000	人 件 費	776,890
文部省 刊行補助金	560,000	物 品 費	547,180
		雑 費	438,097
		次期繰越金	3,341,473
計	15,265,926	計	15,265,926

臨時部

収 入		支 出	
前期繰越金	1,662,756	研究補助費	336,000
賛助会費	610,000	学術交流費	205,500
利 息	9,172	人 件 費	57,000
		送料通信費	44,599
		事務所 移転関係費	887,620
		次期繰越金	751,209
計	2,281,928	計	2,281,928

大塚奨学金 (元金 1,000,000円)

収 入		支 出	
前期繰越金	231,584	奨 学 金	80,000
利 息	75,688	事 務 費	6,000
		元 金 繰 入	150,000
		次期繰越金	71,272
計	307,272	計	307,272

日本天文学会保有有価証券類	金額	2,646,419 円
内訳 住友信託 貸付信託		1,150,000 円
” 普通預金		71,272 円
三菱信託 定期預金		1,305,147 円
電信電話債券		120,000 円

監査の結果、収支決算の正しいことを証明いたします。

昭和49年4月2日 大協直明 ㊟

下保 茂 ㊟

〔付録 3〕 昭和 49 年度予算書

(自昭和49年4月1日 至昭和50年3月31日)

社団法人 日本天文学会

経常部

(単位 円)

収 入		支 出	
前期繰越金	3,341,473	欧文報告調製費	5,500,000
会 費	4,000,000	欧文報告複製費	200,000
欧文報告販売	2,000,000	天文月報調製費	4,000,000
天文月報販売	600,000	諸印刷物調製費	1,300,000
諸印刷物販売	1,000,000	送料通信費	1,200,000
印 税	500,000	交 通 費	300,000
利 息	60,000	定 会 費	200,000
雑 収 入	2,200,000	謝 金	600,000
欧文報告 委託出版費	250,000	人 件 費	1,000,000
文部省 刊行補助金	740,000	物 品 費	200,000
		雑 費	191,473
計	14,691,473	計	14,691,473

臨時部

収 入		支 出	
前期繰越金	751,209	研究補助費	336,000
賛助会費	610,000	学術交流費	250,000
		人 件 費	50,000
		送料通信費	50,000
		欧文報告 総索引調製費	600,000
		予 備 費	75,209
計	1,361,209	計	1,361,209